



# ティーンズの本棚

2024年 5月 第170号  
(月1回発行)  
半田市立図書館  
tel 0569-23-7171  
亀崎図書館  
tel 0569-29-5060

## 本で旅をしよう! 「ハワイ」編

ハワイ語で「ようこそ」「さよなら」などの挨拶をするとき、「アロハ (aloha)」と言います。派手なプリント模様のシャツも「アロハ」と呼びますが、1950年代から流行した衣服です。

### 庭 こてまり 小手鞠い / 作 小学館 (T913/3)



仲良くしていた友達4人が、SNS上で匿名のアカウントから自分を攻撃していたことを知った真奈。その日から、ショックで不登校になってしまいました。「無人島へ行きたい」と、ひきこもっていたある日、ハワイの親戚の家に行くことに…。初めて来たハワイは知らないことばかりで驚きの連続でしたが、祖母の庭の手入れを手伝う日々の中で、真奈の心は少しずつ変化していきました。

## 新しく入った本

### 行く手、はるかなれど はしきあきらこ グスタフ・ヴァーサ物語



菱木晃子 / 作 徳間書店 (T913/t)

16世紀初め、スウェーデンはデンマークによる支配に苦しんでいました。スウェーデン貴族の息子グスタフ・ヴァーサは、デンマークで軟禁されていましたが、身を隠しながら祖国へ戻ります。その後、国の独立を目指し、試練を乗り越え難局を打開した末に、国の基礎を築きます。不屈の意志を持って国のために立ち上がった人物の物語。

### 世界ぐるぐる怪異紀行 かいいきこう どうして“わからないもの”はこわいの?



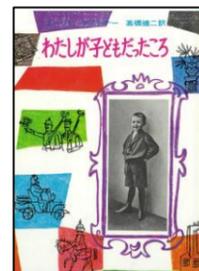
奥野克巳 / ほか著 河出書房新社 (T388/t)

日本では、怪異現象のほとんどは科学的ではなく迷信だと判断されます。しかし、世界には現在でも、呪いや悪霊などが日常的に受け入れられ、呪術を職業とする人々も存在しています。この本では9名の文化人類学者が調査したさまざまな地域の怪異現象を紹介。怪異現象が社会で果たしている役割についても触れられています。

## 「本の森 (YA図書を読む会)」 のオススメ本

### わたしが子どもだったころ

ケストナー / 作 高橋健二 / 訳 岩波書店 (J943/ケ)



働き者の両親の元で愛情深く育てられる少年。一人っ子の彼は頑張り屋で、家でも忙しい母の仕事を懸命に手伝います。貧しいながらもクリスマスには家族でプレゼントを贈りあったり、母とは何度も徒歩旅行をします。やがて戦争が始まり、少年はどう生きていくのでしょうか? 心温まる、児童文学者の自伝的物語。

YA = Young Adultの略。10代の若い人をさす言葉です。「本の森 (YA 図書を読む会)」では、半田市立図書館で2か月に1回、読書会を行っています。

## 5類の本



図書館の本は、日本十進分類法によって分類されています。内容によって、0類から9類まで、10個のグループに分かれています。5類には、環境問題、建設、宇宙開発、ものづくりや料理などに関する本があります。

### ずかん美しい世界の線路 ヨーロッパ編

見ながら学習調べてなっとく はしづめともゆき 橋爪智之 / 著 技術評論社 (J516/h)



この本は、ヨーロッパの鉄道の線路について、写真や図を使って紹介したものです。線路が分かれる分岐器、線路が敷かれている橋やトンネル、線路のまわりにある信号や踏切など、見慣れた日本のものとの違いがよくわかります。陸続きのヨーロッパでは、線路も隣の国とつながっています。列車に乗りながら国境を通過するなんて、ワクワクしますね。

### 地球のかじり方 世界のレシピ BOOK

62の国と地域の名物料理 89品を再現! 食の歴史・文化・習慣を学べる雑学コラム付き旅の料理レシピ本



佐藤わか子 / 料理制作 学研プラス (596.2/f)

世界各国の料理のレシピを始め、料理ができた歴史や文化が紹介され、旅行気分が味わえます。長年、世界各地の旅行ガイドブックを作ってきた地球の歩き方編集室が監修した本で、2023年の「料理レシピ本大賞」を受賞しています。

図書館のホームページから、蔵書の検索ができます。また、電子書籍の利用も可能です。(インターネット登録が必要です) 詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.city.handa.lg.jp/bunka/bunkashitsu/1002662/index.html>



半田市立図書館キャラクター  
ブックんとしおりちゃん